

カテゴリ名：

「C. 大学院学生の学習状況について」

調査項目：

「Q.14 資質能力基準を意識して、学期毎の履修計画を立てることができていますか」

「Q.15 子どもの理解や、多様な人との関わりを深めるための授業外での取組を主体的に行っていますか」

「Q.16 学期毎の学修の振り返りの結果を将来のキャリアにつなげて考えられていますか」

## 1. 全体の傾向

資質能力基準を意識して、学期毎の履修計画を立てることができている学生は 36%、ある程度立てることができている学生は 57%であった。子どもの理解や、多様な人との関わりを深めるための授業外での取組を主体的に行っている学生は 43%、ある程度行っている学生は 31%であった。学期毎の学修の振り返りの結果を将来のキャリアにつなげて考えられている学生は 26%、ある程度考えられている学生は 55%であった。

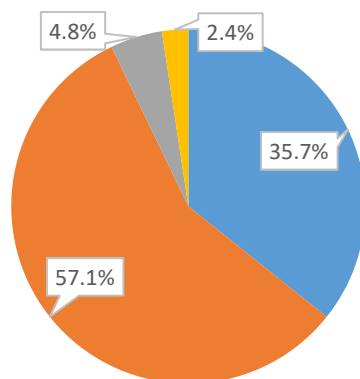
## 2. 特筆すべき事項

各質問における肯定的意見が「Q.14」は 93%、「Q.15」は 74%、「Q.16」は 81%と非常に高い水準となっており、大学院学生の学習状況については良好な結果となっている。

Q.14 資質能力基準を意識して、学期毎の履修計画を立てることができていますか

(大学院生全体)

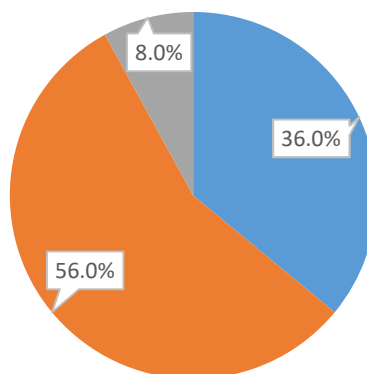
立てることができている	15
ある程度立てることができている	24
あまり立てることができていない	2
立てることができていない	1
計	42



【入学年度別】

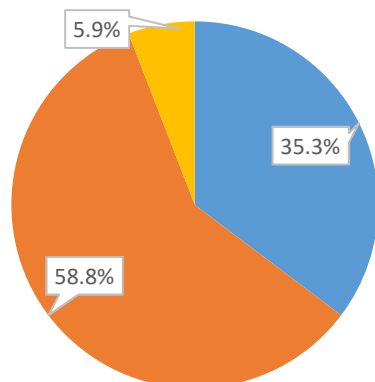
(令和3年度入学者)

立てることができている	9
ある程度立てることができている	14
あまり立てることができていない	2
立てることができていない	0
計	25



(令和2年度以前入学者)

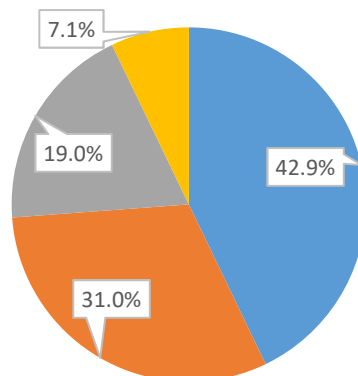
立てることができている	6
ある程度立てることができている	10
あまり立てることができていない	0
立てることができていない	1
計	17



Q.15 子どもの理解や、多様な人との関わりを深めるための授業外での取組を主体的に行っていますか

(大学院生全体)

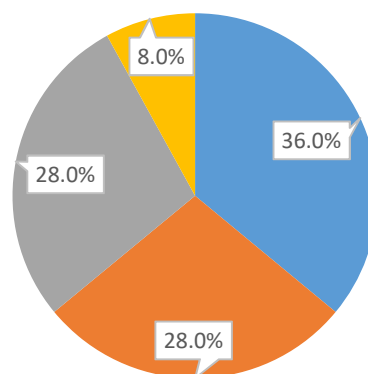
行っている	18
ある程度行っている	13
あまり行うことができていない	8
行うことができていない	3
計	42



【入学年度別】

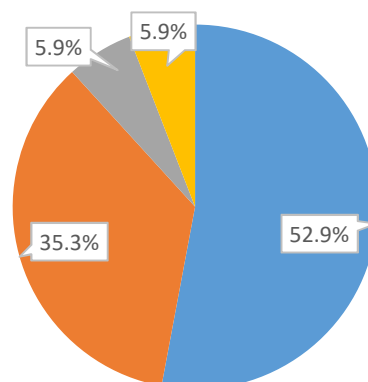
(令和3年度入学者)

行っている	9
ある程度行っている	7
あまり行うことができていない	7
行うことができていない	2
計	25



(令和2年度以前入学者)

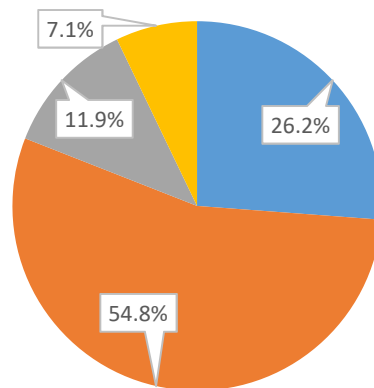
行っている	9
ある程度行っている	6
あまり行うことができていない	1
行うことができていない	1
計	17



Q.16 学期毎の学修の振り返りの結果を将来のキャリアにつなげて  
考えられていますか

(大学院生全体)

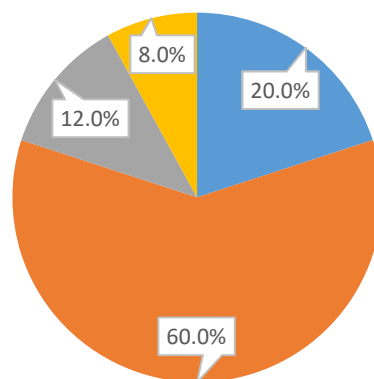
考えられている	11
ある程度考えられている	23
あまり考えることができていない	5
考えることができていない	3
計	42



【入学年度別】

(令和3年度入学者)

考えられている	5
ある程度考えられている	15
あまり考えることができていない	3
考えることができていない	2
計	25



(令和2年度以前入学者)

考えられている	6
ある程度考えられている	8
あまり考えることができていない	2
考えることができていない	1
計	17

